Ichioka 会報
2014/01
第66号

（特定非営利活動法人）市岡国際教育協会 市岡日本語教室
●場所 港区民センター（港区弁天 2-1-5）
●日時 毎週金曜日午後 7 時から 8 時半
e-mail: ichioka_nihongo@hotmail.com
URL: http://ichioka-nihongo.org/ phone: 080-3846-2581

特集 秋の遠足 京都伏見

蕭靖儒さん

（台湾出身・２班）

今回のハイキングは京都伏見へ行きました。これも私は初めて日本語教室のみんなと一緒に遠足です。まずは日本に有名な酒、月桂冠の記念館を見学に行って、日本酒の製造方法を見て、おいしい酒や水を試食して、すごくおいしいですね！　昼ご飯の時、みんなは自分で作った料理を食事しました。先生たちの料理を食べて、おいしいですよ！　後で御香宮神社へ参拝した時、偶然に子供の七五三の儀式を行われていた。今回のハイキングは、大雨が降っていたが、皆さんと一緒に日本の文化を体験して、本当に楽しかったです。今度、チャンスがあったら、ぜひもう一度参加して行こうと思います。

（文法的に少し間違っているところもありますが、上手な日本語なのであえてそのまま掲載しました。写真は 12 月のオープンクラスのときのものです。）

酒どころ‘伏見の地’を　市岡で学ぶ仲間と共に訪れる喜びよ！！

五味久美さん（５班）

“雨天、決行！！”という強い気持ちが私の中にずっと在りましたので、途中、雨にも遭いましたが、全員と元気よく共に行動できて、心に残る、素晴らしい日となりました。

『うまい酒は自然の恵みから』といわれているように、京都の雄大な自然が磨いた伏見の名水「伏水（ふしみず）」は酒造りに適していて、400 年程前に本格的な醸造が始まったよう。いたるところに酒蔵が残る伏見の街並みの一角に、貴重な酒造用具類を保存し、伏見の酒造りと日本酒の歴史を紹介している月桂冠大倉記念館があった。（１６３７年創業時酒名は「玉の泉」、1906 年古代オリンピックで勝者に月桂樹のリースを贈って栄誉をたたえた故事に習い「月経冠」と命名。1910 年、大蔵酒造研究所を設立し樽詰め酒を瓶詰め酒に変える等、品質にこだわり、新技術を開発し、日本酒の素晴らしさを世界に伝えようとしている。）《広いスペースの中庭には、銘酒を生み出す命の水<さかみず>の湧き出る井戸あり。》館内には“米や水、麹の状態、温度、時間配分等を全てベストにととのえ、よい酒造りに尽力する”職人（杜氏・蔵人）の魂が宿る道具類がところ狭しと配列されていた。精米～瓶詰めに及ぶ酒造りの工程について、詳細で、丁寧な、熱きおもいの伝わる説明を受け、大変感銘いたしました。そして、今回、わたしの心を揺さぶり、もっと知りたいと関心を寄せましたのは、館内に響きわたっていた唄声でした。「酒造り唄」・・・酒造りの工程の中で蔵人達によって作業しながら唄われた仕事歌。＊寒く眠く辛い作業を紛らわし、気持ちに張りを持たせる為（洗場唄、桶洗唄）＊集団労働を合わせる為（米洗唄、モトすり唄・・麹と酵母を組み合わせて発酵を行う酒母づくりで）　作業に合った調子、短い歌詞を何番まで唄うかによって時間を計る役割、心をひとつに士気を高めるという大事な意味をもつのです。洗米場唄より・・イヤーハー酒屋男とナ　うぐいす鳥は　寒さこらえて　春を待つ・・本物そのものを生み出すために、手を切るような水の冷たさと闘いながら

＠１９７５年、「月桂冠酒唄保存会」が結成され、伏見の伝統・各流派の酒造り唄を収集し、各種の催し、お祝いの席などで披露されているそうです。

広報担当者募集！！

ホームページ担当者、メール配信担当者、新聞編集者をそれぞれ 1 名以上募集しています。ぜひ、おたすけを。

ワードの操作がある程度できる方、よろしくお願いします。

福永有紀さん（１班）

11 月 10 日（日） 京都伏見の遠足に行って来ました。あいにく天気は雨でしたが４６人もの方が参加してくださいました♪

10 時 10 分、京橋駅で集合、班ごとで点呼を取ったあと京阪電車で中書島に向かいました。中書島駅に着いた時、大雨でしたが月桂冠大倉記念館で係の人の説明を聞きながら案内をうけて、お酒の試飲（３種類）をした後、奇跡的に雨が上がり中庭で集合写真を撮る事が出来ました。

それから少しの間フリータイム。みんな写真を撮ったり、お土産を買ったりと楽しい時間を過ごしました。

雨が上がっている内にランチをとることになり近くの川沿いの公園でランチタイム。ベトナムのトイくんが生春巻きを沢山作ってきてくれて皆で食べました。とても美味しかったです♪トイくんは生春巻きを作るのに朝早く起きて作って来てくれたと聞き感激でした。

ランチの後、黄桜記念館と御香宮神社に行きましたが雨がひどくなってきた為、予定を変更し御香宮神社にて解散となりました。

遠足は普段の教室ではなかなか話出来ない他の班の学習者やボランティアの方とお話する事ができ良い機会だなぁと思いました。また来年も参加したいと思います。

最後に下見や段取りしてくださった皆さん、ありがとうございました。楽しい遠足になりました。

そして今回参加出来なかった方は次回ぜひ参加して下さいね。

（写真はトイくんの春巻。トイくんは３年の研修を終え、昨年末にベトナムに帰国しました。）

秋のハイキング　京都伏見の酒造見学へ

田渕守雄さん（２班）

天気予報は雨、雷と最悪の中、午前１０時１０分の集合時間頃には曇天で実施。ボランティア、学習者 44 人の参加者で go!

京阪電車中書島駅着いた頃はかなりの雨で、傘の行列で月桂冠大倉記念館へ。

年配の男性から酒造りの工程や大倉酒造の歴史などの説明を聞き、酒造り職人らが伝統の歌を唄いながら作業するのは、時間を計ることと眠らないようにとのことでした。

見学者は 40 年前の味の酒、大吟醸、ラム風酒のきき酒を試飲し、初めて日本酒を味わう学習者たちも「おいしい」『飲みやすい」と好評であった。月桂冠１８０　ｃｃ入りをお土産にもらい、ニッコリ！見学後は、雨もやみ好運であったが、予定を変更して近くの公園で昼食にした。車座になりボランティア手作りの、おにぎりや卵焼き、みかん、ワッフルまで学習者と分け合い、楽しい昼食であった。

８日に修了証をもらったベトナムのトイ君がみんなに母国の春巻きを差し入れてくれた。朝早くから何十本と作ったのであろう。ありがとうトイ君、昨秋ベトナム訪問以来、１年ぶりのご賞味である。

昼食後、やはり雨はふってきた。歩いて数分の黄桜記念館へ。小島功氏のかっぱ原画展は、なつかしかった。記念館を出る頃には、雨は激しくなってきたが御香水神社へ。境内に湧く「御香水」は日本百選の一つであり、丁度、「七、五、三参り」の時季であったが、生憎この雨にもかかわらず数組だが、かわいい晴れ着姿のお参りに、学習者達は盛んに、シャッターを切っていた。

天気最悪の中、無事、実施できたことは市岡日本語教室の日頃の精励の賜物であろう。

今後の予定

日本語教室

1 月 10 日、17 日、24 日、31 日
2 月 7 日、14 日、21 日
2 月 28 日（弁天町市民学習センター）
3 月 7 日、14 日（今年度最終）
3 月 21 日（お休み、春分の日）
4 月 11 日より来年度の日本語教室開始

ボランティア研修会、新規ボランティア説明会

3 月 28 日、4 月 4 日

毎週金曜日の夜 7 時から 8 時 30 分まで。港区民センター。

ワンワールドフェスティバル

2 月 1 日（土）、2 日（日）　国際交流センター（上本町 8 丁目）

学習者募集中！

日本語をべんきょうしたい外国人のみなさん、市岡にほんごきょうしつは、生徒をぼしゅうしています。まいしゅう金ようび、よる 7時から 8時３０分まで。お金はいりません。予約もいりません。来たい時に、いつでもきてください。

でんわ　080-3846-2581

会員相互の連絡はブログ、フェイスブックをご利用ください。

市岡日本語教室では、外部への宣伝や、会員相互の連絡、親交のためにホームページを開設しています。ぜひともご覧になってください。

http://ichioka-nihongo.org/

ホームページそのものの更新はほとんど行っていませんが、毎週学級日誌を更新しています。日ごろの活動の様子がわかります。

また、ブログでは最新の情報を提供するようにしています。

http://geocities.yahoo.co.jp/gl/ichioka_nihongo

『市岡日本語』で検索してみてください。日程や会場の確認ができます。

facebook

フェイスブックにも「市岡日本語」というグループを作っています。そちらにもご参加ください。